

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

Co-Design Challenge

プログラム

-コンセプトペーパー-

2022年7月26日 公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

はじめに

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会（以下、「当協会」という。）は、2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」という。）の開催に向けて、「大阪・関西万博を契機に、これからの日本の暮らし（まち）をつくる」をコンセプトとした新しい共創事業「Co-Design Challenge」プログラムを実施します。

このプログラムは、当協会が設置したデザイン視点から大阪・関西万博で実装すべき未来社会の姿を検討する「Expo Outcome Design Committee」（以下、「EODC」という。）監修のもと、大阪・関西万博開催および、それ以降の社会に向けて必要と考え、掲げるコンセプトに対して、主体的に関わり、議論を先導し、物品やサービスの開発・共創を進めていただく企業・団体を募るものです。

大企業だけでなく、大きな資本を持たない企業・団体にもぜひ積極的に参加していただき、本万博のコンセプトである「People's Living Lab」を体現するプログラムを目指しています。積極的なご参加をお待ちしています。

本プログラムの狙い

Co-Design Challengeプログラムを通じて見せたいものは、様々な人たちが考え、創り上げる多様な未来の姿です。

決して1つではない、沢山の解釈と正解がそこに生まれます。

また、開発のプロセスやワンシーンを見て、今日本や世界に何が起きているかを、知ってほしいと思っています。

産地はどこで、誰が流通を担い、どうやって今ここにその”もの”があるのか、あなたが今生きる日本を、世界を見つめなおすきっかけにしてください。

日本の日常のくらしを考えるのは、一人ひとりです。技術や考えをもつ企業・団体、地域や生活のことを考える大学・自治体、それらを設計し社会に実装するデザイナー・クリエイター、それぞれの力を結集して、Co-Design（共創造）の実験をしたいと考えています。

Co-Design Challengeプログラムのご説明

Co-Design Challengeプログラムの概要

大阪・関西万博のテーマは、「いのち輝く未来社会のデザイン」です。

Co-Design Challengeプログラムはそのテーマに沿って、未来社会の象徴の一つとして、「これからの日本の暮らし（まち）」に焦点を当てています。大阪・関西万博を契機に”まち”を構成する様々な要素を改めて考え、

様々なプレイヤーの共創により「これからの〇〇をデザイン」していきたいと思っています。

それらは、2025年には万博会場内外で実装され、世界に向けて発信をしていく予定です。

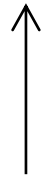
Co-Design Challengeプログラムのコンセプト

大阪・関西万博を契機に、
これからの日本のくらし（まち）をつくる

Co-Design Challengeプログラムのテーマ

テーマ（Co-Design Challengeのフォーマット）

これからの〇〇をデザインする



背景

社会課題



アウトカム

万博が目指す未来社会
(EODCレポート参照)

Co-Design Challengeプログラムは様々な物品やサービスを対象に、「これからの〇〇（物品名・サービス名）をデザインする」をフォーマットとして、新たなモノを万博で実現するプロジェクトです。万博という機会を活用いただき、物品やサービスを新たに開発することを通じて現在の社会課題の解決や、アウトカム（万博が目指す未来社会）の実現を目指します。

Co-Design Challengeプログラムのプロセス

Co-Design Challengeプログラムは、下記3ステップにより構成します。



Co-Design Challengeプログラムのプロセス

STEP 1 コンセプト設定・募集

STEP 1



- 当協会が、2025年の万博開催および、万博を通じて目指す社会の実現に向けてCo-Design Challengeプログラム及びそのコンセプトを設定しました。
- このコンセプトに賛同いただき、主体的に関わり、議論を先導し、物品やサービスの開発・共創を進めていただく企業・団体を募ります。

本取組は応募団体、皆様のノウハウと資金で実行いただく取組を募るものとなります。
当協会からの資金提供はございませんのでご了承ください。

Co-Design Challengeプログラムのプロセス

STEP 2 開発・PR

STEP 2



- 採択された企業・団体においては、EODCメンバーとの対話の機会を定期的に持ちながら、各テーマの製品・サービスの開発を手掛けていただきます。
- 2025年までの間、当協会が積極的にその開発過程を発信していきます。
- なお、実施に際しては、「TEAM EXPO 2025」プログラムに登録していただきます。（採択後に登録いただきます）

「TEAM EXPO 2025」プログラムは以下を参照のこと。
<https://team.expo2025.or.jp/>

Co-Design Challengeプログラムのプロセス

STEP 3 会場内（外）実装

STEP 3



- 完成した物品・サービスについては、当協会と協議の上、万博会場に実装する等、万博で活用させていただきます。

Co-Design Challengeプログラムの参加メリット

次のようなメリットがあります。

※いずれも、事業の進捗により今後変更の可能性がございます

デザイナーによるアドバイス

多様なデザイナーが集まるEODCメンバーによる定期的なアドバイス

完成品の販売

開発した製品・サービスは自由に販売可能。当協会も情報発信等により支援

(開発した製品の知的財産権は応募者に帰属)

ブランディング（完成品の知名度・価値向上）の訴求

当協会のメディアで開発のプロセスを発信・PR

おわりに

今の日本の街並みはいつ出来上がったのでしょうか。

なにげない日常を彩る様々なもの、なぜそれらは今の形になったのでしょうか。

大阪・関西万博の機会に、日常のアタリマエを見直してみませんか？

今を否定するのではなく、今よりもっと良い未来をつくるために、

一緒にこれからの日本のくらし（まち）をデザインしてみませんか。

そのデザインを世界に発信し、万博後の社会を一緒に考え、創りあげていきましょう。

大阪・関西万博が進める本プログラムに奮ってご参加ください。

ご案内

上述しました一連の指針に基づいて、2022年7月26日に運営参加の特別プログラムとして「Co-Design Challenge」プログラムを募集開始致します。

応募に際しての詳細な説明資料は[運営参加資料](#)内のCo-Design Challenge説明資料 [PDFファイル] をご参照ください。